

4/29^土 → 6/11^日 '06
祝

Destiny Deacon

Walk + don't look blak.

オーストラリア 現代作家 デスティニー・ディーコン展

主催=(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/読売新聞東京本社/美術館連絡協議会/メルボルン大学アジアリンク・センター/シドニー現代美術館
協賛=凸版印刷 花王株式会社 助成=オーストラリア・カウンシル/アーツ・ヴィクトリア 協力=ロスリン・オックスレイ9・ギャラリー

観覧料=一般700(560)円 学生600(480)円 中高・65歳以上500(400)円
※()内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会 ※小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日(4/26)以上無料
開館時間=10:00-18:00(本・金は20:00まで、入館は閉館の30分前) 休館日=毎週月曜日(但し5月1日は開館、ゴールデンウィーク中休館なし)
Destiny Deacon: Walk + don't look blak is curated by Natalie King and is a joint project of the Tokyo Metropolitan Museum of Photography, the Museum of Contemporary Art, Sydney and the Asialink Centre of The University of Melbourne.
Curatorial adviser: Virginia Fraser

東京都写真美術館 www.syabi.com 2F 展示室
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

Destiny Deacon: Last Laugh, 1995/2004 (left art from Poland)
Courtesy of the artist and Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney © Destiny Deacon
「最後に笑うのは」



オーストラリア現代作家
Destiny Deacon 展
April 29-June 11, 2006
Destiny Deacon
Walk + don't look blak.

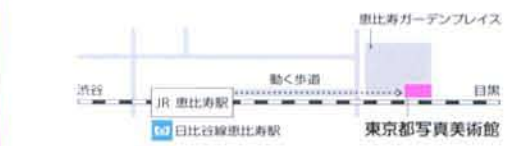
世界的活躍がめざましいオーストラリアの新進気鋭アーティスト、デスティニー・ディーコンの展覧会を開催します。ディーコンは1957年クイーンズランド州、先住民エルブ・メール族の家系に生まれ、メルボルンで育ちました。現在、オーストラリアでは現代社会の構造や問題を見直そうという視点から、ディーコンのような先住民出身作家(インディジネス・アーティスト)の表現に注目が集まっています。なかでもディーコンは、お土産物の人形など、日常に溶け込んでいるモチーフを選び、そこに隠されている歴史や現実の歪みを鋭い視点で独特のユーモアを交えて表現しています。タイトルの「Don't look blak」も「back(過去)」「black(黒人)」など複数の意味をもつディーコンのつくった造語です。豪日交流年でもある今年、オーストラリアの現状をより深く知ることは、日本や周辺諸国におけるさまざまな問題にも考えを巡らせるきっかけとなるでしょう。

●特別レクチャー ゲスト: デスティニー・ディーコン/ヴァージニア・フレイザー(共同制作者) ナタリー・キング(ゲストキュレーター) 2006年4月29日(土祝) 14:00-17:00
1階アトリウム(逐次抽選付) 参加費 ¥1,000- 定員30名(申込先着順) 申込方法: 電子メールまたはFAXにて参加希望コース、住所、氏名、電話、番号をご記入の上、お申し込みください。追加募集は各コース先着順での参加となりますので、ご了承ください。締切日までにお申し込みいただいた方には、可否に関わらず当館より「参加のお知らせ」等をお送り致します。申込先: メールアドレス workshop@syabi.com (FAX) 03-3280-0033

[個人情報取得について] ワークショップお申し込みの際にお客様にご記入いただく住所・電話番号等の個人情報は申し込みいただいたワークショップに関する連絡事項等を、当美術館からお客様にお伝えするために使用するものです。その他、お客様の個人情報の取得につきましては、東京都歴史文化財団 プライバシーポリシー (<http://www.rekibun.or.jp>) をご覧ください。



- *01 Adignon 1993/2000
- *02 Louveling 1998/2003
- *03 Sad 1998/2003
- *04 Slow 1998/2003
- *05 If I had a Hammer 2003
- *06 Melancholy 2000 From the series Sad & Blak
- *07 Being There 1998
- *08 Blak like me 1991/2003
- *09 My Incoming did come back 2003
- *10 Waiting for Goddard (B) 1993/2003
- *11 Over the Fence 2000 From the series Sad & Blak
- *12 Hanging out too 2003
- *01 「善子嬢」
- *02 「黒」
- *03 「悲しみ」
- *04 「愚鈍」
- *05 「ハンマーが落ちてきたら」
- *06 「メロン」 コーヒー
- *07 「手こじり」
- *08 「ブロッカー・ツイスター」
- *09 「アメンソンは遠くまで」
- *10 「女神を待つ」
- *11 「最後の日は」
- *12 「流石の年子」



■ JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京外日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
■ 当館には専用の駐車場はございません。お車のご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

本展はすべて © Destiny Deacon
Courtesy of the artist and Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney

東京都写真美術館 www.syabi.com